

千葉県 Chiba Prefectural Government

Foreign Languages 文字サイズ・色合いの変更 音声読み上げ

千葉県 チーバくん

検索 使い方

くらし・福祉・健康 教育・文化・スポーツ しごと・産業・観光 環境・まちづくり 県政情報・統計 防災・安全・安心 イベント情報 キッズページ

## 令和元年度分報告

- 医療上の事故等に対する調査の実施状況について（包括公表）
- 県立病院におけるヒヤリ・ハット事例及びアクシデント報告状況について（令和元年度分報告）



何をお探ですか？

いろいろな探し方

電子県庁

## サービス停止情報

現在情報はありません。

ホーム > くらし・福祉・健康 > 健康・医療 > 県立病院・県内医療機関 > 千葉県病院局 > 千葉県立病院医療安全管理について > 令和元年度分報告 > 医療上の事故等に対する調査の実施状況について（包括公表）

印刷

## 報道発表案件

更新日：令和2(2020)年7月18日

## 医療上の事故等に対する調査の実施状況について（包括公表）

発表日：令和2年7月17日

病院局経営管理課

県立病院では、アクシデントが発生し、医療法第6条の10に該当すると判断した場合や、明らかに誤った医療行為又は管理に起因する、又はその疑いが否定できないと判断した場合、その他、再発防止の観点から調査が必要と判断した場合は、調査委員会を設置して調査することとしています。

このうち明らかに誤った医療行為又は管理に起因するもの以外の事案、及び家族に公表の同意が得られなかった事案について、毎年1回、包括的に公表しています。（明らかに誤った医療行為又は管理に起因する事案で、公表の同意が得られたものは、随時「個別公表」することとしています。）

この度、調査報告書がまとまり、家族説明が終了したものについて、以下のとおり公表いたします。

## 1. 公表同意を得られた事案

病院名 発生年月日	概要	調査結果
循環器病センター 令和元年6月発生  (調査経過) R1.6月 医療事故調査・支援センター報告 R1.9月・10月 院内事故調査委員会 設置第1回・第2回委員会  R2.3月報告書完成 R2.4月遺族説明 R2.4月医療事故調査・支援センター報告	【処置後2日目の死亡事案】 80歳代女性 近医で透析中の患者が胸痛を訴え、精査目的で当センターへ搬送された。 精査中に高度房室ブロックを発症し、一時的ペースメーカーを挿入した。翌日、恒久的ペースメーカーを挿入する前の透析中に、心肺停止となり多臓器不全で死亡した事案。	死因は、心タンポナーデからの循環不全による多臓器不全と判断された。一時的ペースメーカー挿入時のベisingリードを挿入する際に血圧低下を来しその時点で心タンポナーデを発症していた可能性がある。 ベisingリードの留置において、部位の決定に難渋しリードが下大静脈を回り右室内に挿入され右室の穿孔が生じたと考えられる。 入院当日に透析を開始し血圧が低下した場面や心臓超音波検査を行った場面で、臨床症状

ページの先頭へ戻る

